

南越農林だより

旬菜.com販売額1億円達成！

旬菜.comねっと（会長：米岡房直氏、会員：個人55名、24組織）は、このたび年間販売額1億円を達成しました。

「旬菜.com」の名前で平成13年度から販売を開始し、それぞれの売り場で生産者の顔写真や商品に収穫日表示したり、生産履歴をホームページで公開しています。

さらに、軟弱野菜や果実類の生産を拡大しており、学校給食への食材供給も増えています。これからも消費者から求められる安全安心な商品づくりを目指します。



旬菜大集合市で地元産をPR

特定農業法人「フェルムはしたて」の紹介



特定農業法人フェルムはしたての組合長(写真右側)と普及指導員

特定農業法人「フェルムはしたて」（代表理事：武佐政幸氏）は、昨年11月、鯖江市橋立町で設立された集落営農組織です。「フェルム」とはフランス語で農場・農家を意味し、組合員34戸・約25haの経営です。

設立の動機は、新しい農業政策に対応すること、後継者不足が心配される中で、集落内農地を守ること、効率的な経営を行うことなどです。

当法人からは、南越農林総合事務所が実施する「ふくい田んぼ塾」に昨年から参加されており、栽培技術の向上に対する思いが強く感じられます。

南越農林総合事務所

越前市上太田町41-5 TEL(0778)23-4545

URL <http://info.pref.fukui.jp/nourin/sougou/nanetsu/>

E-mail nan-noso@pref.fukui.lg.jp



健康長寿な福井です。

平成19年5月18日

No.22



県営かんがい排水事業 沖田川地区竣工

平成6年度に着工した県営かんがい排水事業沖田川地区は、平成18年度で無事完成しました。本地区は越前市野上町、北千福町、沢町、千福町、広瀬町地係において約2,430mの沖田川を整備するもので、受益区域は205haになります。この沖田川は昭和36～37年にブロック積工法で施工された排水路ですが、老朽化が進み、写真(左)のように溝畔が崩れるくらいまで水位が上昇し、水田の中へ水が入ってしまうこともありました。本事業は水路幅を変えず水路を深くすることにより水が溢れないように改修しました。(写真(右)は施工後)

地元の皆様方には、整備された水路を有効に利用され、安心して水田農業に励んで頂きますようお願いいたします。



着工前



施工後

●共同活動支援の取り組みが、スタートしました●

～地域ぐるみで農村の自然環境を守って行きましょう～

農地・水・環境を良好に保全するため、地域ぐるみで行う共同活動への支援が始まり、この対策に取組む「地域協議会」がそれぞれの市町で設立されています。4月1日からすでに活動を行っている地域もありますが、活動計画に基づき共同活動を行うこととなっています。



江市農地・水・環境対策協議会設立総会



4月1日に行われた集落の共同作業

南越管内では、7割(面積)を超える地域で活動組織が設立され、共同活動が実施される予定です。活動組織で活動計画を作成し、用水路の泥上げや清掃・補修、農道の砂利補修、生き物にやさしい施設の管理、水質調査などそれぞれの地域で工夫を凝らした活動が行われます。

地域が一体となった共同活動に取組み、農村の自然環境と美しい景観を守って行きましょう。

共同活動に関するご質問、ご意見は、南越農林総合事務所農村整備部・各市町農林整備担当課にお問い合わせください。

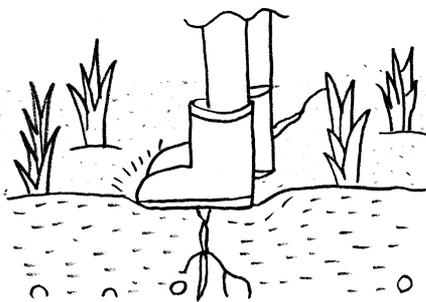
『中干し』で19年産米の品質向上を!!

昨年は、胴割米が多発し、1等米比率が大きく低下しました。
しかし、胴割米の発生が少なかった圃場は、『中干し』を適正に実施していたことが分かりました。

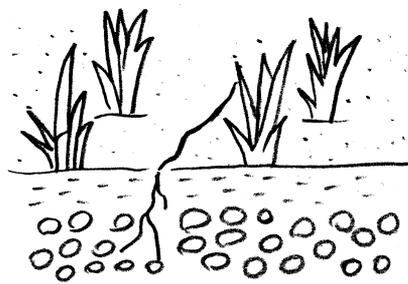
『中干し』は、一定期間落水する作業で、根の生長を促進し、異常気象に負けない稲に育てる上で重要です。過剰分けつ、乳白粒の発生を抑制し、米も大粒となります。

『中干し』は、6月上旬頃に、移植なら1株茎数が16~18本、直播なら1mあたり100本となったら開始し、下図の状態となったら入水します。その後は、間断通水を繰り返し、出穂期には歩いても沈まない程度に仕上げます。

『中干し』を効果的に行うためには、同時に『溝切り』も行うことが大切です。



半湿田では足が少し沈む程度



乾田では弱いヒビが入る程度

営農基礎活動支援について

～環境にやさしい農業に取り組みましょう～

南越管内では、全市町の30数地区（活動区域は町全体や集落など）で取り組んでいます。

地区全体で取り組む営農基礎活動支援では、技術研修会や先進地視察などの環境にやさしい農業に関する情報収集活動や消費者との意見交換、実証圃や土壌分析など技術的な活動が計画されています。

化学肥料・農薬を5割以上削減して栽培する先進的営農支援は、ソバを中心に水稻・キュウリやホウレンソウなどの作目での取り組みが実施されます。

今年度、営農活動支援への取り組みがない活動組織においても、来年に向けた話し合いで、環境にやさしい農業の輪を広げていきましょう。



営農支援活動に関する質問・ご意見は、南越農林総合事務所農業経営支援部・各市町農政担当課にお問い合わせください。

食育推進全国大会開催のお知らせ

健康長寿である福井県は、全国に先駆けて食育を実践しています。

今大会では、地域の食文化や自然、歴史的背景などを活かした福井県の特色ある食育を全国に力強く発信します。

ご家族や知人、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

日時:平成19年6月9日(土)・10日(日)

場所:サンドーム福井

- 【内 容】
- フォーラム・講演(6/9)
 - 全国高校生食育王選手権大会「全国高校生がつくる日本の朝ごはん!決戦」(6/10)
 - 政府・食育推進団体・都道府県による食育ブース
 - ・政府機関、全国的な食育実践団体、都道府県などの展示、体験コーナー
 - ふくいの食育ブース
 - ・健康長寿ふくいの食文化の紹介、魚をさばく体験講座、食育ミニステージ
 - ・食べ残しを少なくする運動など、食と環境のかかわりを学ぶコーナー
 - ・市町、食育推進団体、民間企業、学校などの特色ある食育活動の紹介や体験講座
 - ほかにニッポン食育フェア イン 福井
 - ・農林水産省提唱による各種イベントや展示
- 野外広場:いきもの出会い広場
- なお、内容は今後変更になることがあります。詳しい内容につきましては、県販売開拓課のホームページをご覧ください。

<http://info.pref.fukui.jp/hanbai/>

直売に向けた
野菜栽培のコツ、
お教えします



南越管内では、地域農業支援員(10名)のみなさんが、野菜などの栽培方法や安全・安心な農産物づくりを現地にて指導いたします。

野菜栽培のコツを学んでいただき、直売所等へ出荷を増やし、消費者に喜ばれる農産物作りを目指しませんか。

講習等を希望される方は、農業経営支援部 角井(かどい)までお問い合わせください。

自動車税の納期限は5月31日(木)です!

ご自宅に郵送された納税通知書(はがき)にて、お近くの金融機関、郵便局、または南越県税事務所の窓口で納付してください。

■南越県税事務所では、休日・夜間窓口を開設いたします。

【休日】 5月27日(日) 午前8時30分~午後5時

【臨時納税窓口】

【夜間】 30日(水) 午前8時30分~午後8時

5月27日(日) 午前10時~午後6時

31日(木) ”

アル・プラザ 江 1階セントラルコート

*詳しくは、右記事務所までお問い合わせください。

福井県南越県税事務所 越前市上太田町41-5(ショッピングセンターシピア南側 南越合同庁舎1階)
TEL 0778-23-4545(代表)

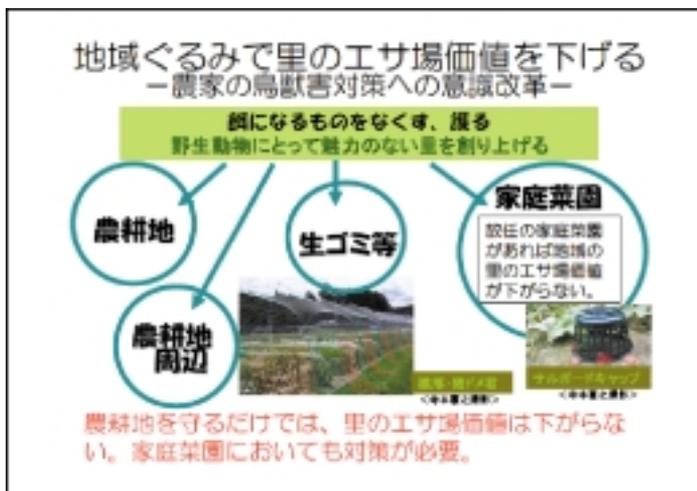
集落みんなで鳥獣害対策に取り組みましょう

～鳥獣害のない里づくりのために～

1 知らないうちに、害獣を呼び寄せていませんか？ 害獣を増やしていませんか？

- ・野菜クズを農地や山に捨てていませんか？
- ・収穫しなくなった柿や栗が山際に植えたままになっていませんか？
- ・秋起こしをせず稲の「ひこばえ」をそのままにいませんか？

私たちが気づかずに与えている『エサ』は、野生動物を農地に呼び、数を増やす大きな原因になっています。ひとりひとりが気をつけて、これらの『エサ』を取り除きましょう。



2 農地や隣接した林地が、隠れ場所になっていませんか？

草などが生い茂った休耕地や荒れた林地・竹藪などは、臆病なイノシシなどにとって、安心して農地に近づくことができる格好の隠れ場所になります。

農地の周辺は集落みんなで草刈りを行い、見通しを良くしておくことが大切です。

3 みんなで取組んでいますか？



集落内での話し合いの様子

一人が『エサ』をなくしても、一つの集落が進入防止対策（電気柵の設置）をしても、その隣に被害が移動するだけで、根本的な解決にはなりません。

電気柵の設置、耕作放棄地や隣接した林地の草刈など、対策を実施する際は、集落みんなで、また地域ぐるみで行動しましょう。

4 進入防止柵を日頃から、 管理・点検していますか？

電気柵などの侵入防止柵も設置さえすれば万全というものではありません。

草刈りや補修などの管理を怠ると獣の侵入にさらされます。当番など役割をきめて維持管理に努めましょう。電気柵の点検をするために人が頻繁に林地に近づくこと自体が、イノシシへの圧力となります。



電気柵の設置の様子

5 里にやってくる害獣を捕獲

対策をしても農地に進入し、農作物に依存してしまった個体は、捕獲隊が中心となつて的確な駆除を行います。駆除は最終手段であり、そのみに頼って被害対策に成功した例はありません。

前項の対策を行ったうえで実施しましょう。



顔の見える安心できる家づくりを目指して!



～ 『池田杉で家づくり』産直ネットワーク～

今回紹介する“『池田杉で家づくり』産直ネットワーク”は、近年、全国的に実施されています「顔の見える家づくり」の一環とし、今年3月28日に設立しました。これは、住宅に使われる木材の産地や住宅が完成するまでの工程など、今まで見えなかった部分を明らかにし、安心・信頼できる家づくりを目的とする会です。



当ネットワークの会員



初出荷

木の生産者である下池田林業活性化グループと木造住宅に携わる工務店・製材業者・設計者が連携し、住宅に使われる木材が、直接入荷できる新たな流通システムを構築しました。今後、会が掲げる「未来につながる森づくり」「安心できる家づくり」が幅広く普及されることで、私たちが望む「元気で活力ある森林林業」につながればと考えています。

「緑の募金でふせごう地球温暖化!!」

平成19年も3月22日から5月31日を「春の募金運動実施期間」として募金活動を行っています。募金は、家庭・企業・学校・職場で行われ、森林・緑づくりの支援、水源の森の手入れ、環境緑化、次代を担う子ども達の育成、森林ボランティア活動への支援等に使われています。

県民の皆様方には、緑の募金活動の用途等にご理解いただき、募金活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

「未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと」

第60回 全国植樹祭

平成21年春開催

式典会場：一乗谷朝倉氏遺跡

植樹会場：福井市脇三ヶ町、朝谷町